

城取博幸の

ベネルクス 3 国 ルクセンブルクのスーパーマーケット見聞録

N088

城取フードサービス研究所

城取 博幸

ベルギー ブリュッセルにいます

今回の日程は、成田→ブリュッセル→ルクセンブルク→ドイツ ケルン→デュッセルドルフ→ブリュッセル→アントワープ→オランダ ロッテルダム→ブリュッセル→成田の予定

ベネルクス 3 国とドイツは鉄道で移動する

今回の目的は、CP のアントワープ工場の視察、インターパック展示会、小売業の視察だ



JAL ドイツ線のエコノミークラスにもウォシュレットが導入されている  
日本らしい



いつ見ても意味が分からない右下の灰皿



いつもの通りのエコノミークラスの機内食



メインは「マグロかつ丼」



スチームコンベクションオーブンで温めたものだ  
味はいいが、衣が多いためマグロの味があまりしない

2 回目の食事は、東京スープストックの野菜スープとパン  
これも最近定番になっている



約 12 時間でドイツ フランクフルトに到着  
ここで 3 時間待ち、ルフトハンザでブリュッセルに向かう  
ルフトハンザのラウンジで加工肉とチーズとピクルスをいただく



さらにプレッツェルも  
この辺はドイツの定番

## 空港内のホットドッグスタンド



注文すればパンに挟んでくれる 繁盛している  
名物のホワイトソーセージも

ケチャップ、マスタード、タルタルソースのディスペンサーが面白い  
大きなパックが逆さまに置かれていて、客は牛の乳を搾るように、好みの量を取る  
無駄が出ない ドイツらしい  
これは日本でもいけそう  
早く導入したほうが勝ち



サンドイッチスタンド「トラディショナル・ベーカリー」と書かれている



ドイツの代表的なサンドイッチが並ぶ  
スープやホットドリンクと組み合わせないと冷たい食事になる

## LH でブリュッセルに向かう



かなり古い機種

1 時間弱のフライトであるため我慢できる

到着 8 時を過ぎてもまだ外は明るい



事件のあったブリュッセルの空港

トヨタの看板が目立つ

日本を出てから 16 時間くらいかかっている

エコノミークラスの旅はツライ

足もむくんで

タクシーで市内へと向かう

ドライバーの運転が雑なので吐きそうになる

市内のアパートメントホテルに到着

壁から倒すタイプのベッド



小さなキッチンもついている

バスタブがあるのがうれしい



グランプラスの近くで立地は最高

水を買いに外に出たが、夜はあまり歩かないほうよさそうだ  
ベッドに潜り込み爆睡

今日はツアーでベネルクス 3 国の一つ「ルクセンブルク」へ行く予定

仲間が情報を提供してくれた「オーバーバイス」というスイーツの店に行く予定  
できればそこでランチもとりたい

### ルクセンブルク観光と「OBERWEIS(オーバーバイス)」

ブリュッセル発のルクセンブルク観光を申し込む

水曜日、日曜日だけの限定ツアー

ガイドは英語とスペイン語で解説

世界中からツアーリストが集まっている

日本人は私と、もう一人の女性と二人だけ

女性は自分探しの一人旅のようだ(余計なことだが)

バスはほぼ満席



バスの車窓から見える景色は、牧草と家畜と麦畑だけ

北緯 60 度以北では、厳しい冬の環境であるため、オリーブもブドウも育たない

家畜の肉とバターとパンとビール、ジャガイモの世界だ  
食文化は地中海の国々とは違う

菜の花畑が広がる

日本の3月～4月の気候かな



牧草の中に数多くの風車

昔から風車は使われているだけに風の強い地域だ

3時間ほどで、ベルギーとルクセンブルクの国境を超える

ルクセンブルク郊外には「LIDL」の看板



ベルギーに数多くある、オランダ アホールド傘下の「DELHAIZE」というスーパーマーケット  
残念ながら、今回はツアーであるため時間がなく、スーパーマーケットは視察できず  
今回は観光とレストランが中心になってしまった

市内に到着

ルクセンブルクの概要

- ・面積は日本の神奈川県ほどの大きさ
- ・人口は約50万人
- ・言語は、ルクセンブルグ語、フランス語、ドイツ語
- ・経済は、世界の金融機関が集まる金融大国

ロンドンに次ぐユーロ市場

豊かな国だ



国旗は 13 世紀の大公の紋章を模したもの

今日のガイドだ

ベネルクス 3 国はラテン系とゲルマン系の民族が入り混じった国

彼はラテン系だ

ゆっくり英語を話してくれるため、聞きやすい



ガイドについて観光

ノールダム寺院

大公宮



こんな古い街並みを歩く



こんな古い看板がいたるところ見える

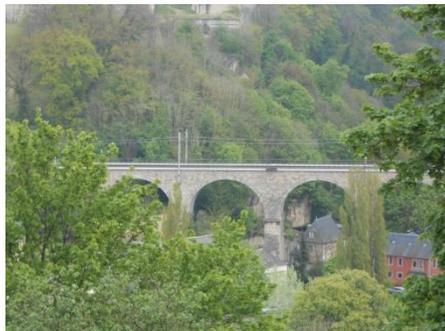


花の市場がでている

要塞都市であるため、川の脇に都市が形成されている



## ボックの砲台



## 観光これくらいして目的の菓子屋「OBERWEIS」へ向かう



数々の賞を受賞している有名店  
パテシエの聖地らしい  
日本人も修行に来るらしい



歴史は 50 年ほど  
今は移転して新しい店になっている

1 階物販、2 階、3 階がレストラン



菓子だけでなく前菜、サラダ、肉料理、魚料理などのデリカテッセンも並ぶ  
パリの「ファッション」のデリカ売場のようだ

盛り付けもきれいだ



チョコレートの陳列

土産物コーナー

後で、「ヘーゼルナッツの спреッド」をみやげに買う

チョコレートは日本でも買えるようだ



2 階、3 階はカジュアルなレストラン

2 時をすぎてもほぼ満席

価格もメインが 20 ユーロ前後

せっかくなので 2 階のレストランでランチ



ランチの肉料理はハンバーガー、ビーフカツレツとステーキ  
アンガス牛のサーロインステーキを注文  
サーロインというよりブアイ肉  
焼き色、食感から熟成肉だ  
淡泊だが深い味わいでおいしかった

つけあわの野菜が凄い  
温野菜、生野菜、フライと料理方法をわけている  
回りを見て分かったことだが、ここはサラダがおすすめのような



コーヒーにはチョコレートがついてくる

せっかくだから、このままでは引き下がれない  
さらに1階のオープンテラスに降りて  
「サバラン」と「モンブラン」と「チョコエクレア」、エスプレッソを注文  
スタッフは「これだけひとりで食べるのかと驚く」  
日本のケーキ定番だが、ここで本場の味を確かめなくては  
満腹だがこれは意地だ  
忘れていたのか「チョコエクレア」だけがでてこない  
まあたぶんたべきれないため、良しとする



サバランは、ラム酒の入ったスポイトがついている

PICARD の冷凍デザートもこのスタイル



中はスポンジというより「海綿状」

しっとりとした大人の味

モンブラン



栗 100%でマロングラッセをペースト状にした味

中にはベリーのジャムが入っている

上品なクリームの甘さ

店の前にはこんな像も



ランチとデザートを満喫

再びバスに乗り、ベルギーのディノという川沿い町による



たまには記念撮影も



川辺に浮かぶ景色



カルフルも見える

夜 8 時過ぎに無事ブリュッセルに到着

参考までに、このツアーにもし参加される場合は、バスの右側の席を確保することをおすすめします

車窓の景色が全然違います

明日は、ブリュッセル市内のスーパーめぐりの予定